

春陽会富山研究会

研究主任 館 寿弥
2017年度 会員 24名



富山県では、「富山」の地名を「とやま」ではなく「とやま」と平板に発音します。また、他県では「とやま」と発音するところが多いです。ということで、本研究会は、「しゅんようかい とやま けんきゅうかい」と平板に、口を大きく開かず早口に発音して下さい。富山県人のせっかちさが伝わるとと思います。

北陸新幹線で東京から最速2時間8分で富山に着きます。ぜひご来県下さい。一同歓迎いたします。

本研究会のモットーは、「よく飲み、よく学び、よく描く」で、研修会や講評会では、学ぶ姿勢を表に出して探求心をもって参加します。そして、本展、研究会展、小品展だけでなく、様々な会派の仲間とのグループ展や個展なども精力的に行っています。

デッサン会・年に2回、裸婦デッサン会を行っています。以前はスケッチ会なども行い、絵画の基礎となる技能習得の研修としています。

夏期研修会・夏季研修会は、泊を伴いじっくりと時間をかけて研修をします。材料研究や下地研究等の実技を伴った研修会であったり、絵画理論や絵を描く意味等の講義形式の研修会であったり、多種多様な講師の方から、様々な方法でご指導いただいています。近年では、東先生にはご自身の体験に基づいた絵画論、峰先生には黄金背景テンペラにおける金箔貼りの技法、坂田先生にはご自身の作品をはじめ村井正誠、保田春彦らの作品を元にデッサンについて、三浦先生には、シルバーポイントの実技研と共に、絵画に脈々と流れる文化論をお話いただき、小林先生には絵画の変遷から、描くということとは何かをご講義いただき、実技研では、リレー形式で描く中で発想の柔軟さが試されました。昨年は、「画材体験と科学」というテーマでホルベインより小林氏を招き、アクリル絵の具を中心に実技研を行いました。

〈春陽会富山研究会展〉12月に年一回、県民会館美術館において、展覧会を行っています。50号以上の作品を2点程度発表し、本部より講師を招き、公開講評会を行います。公開講評会は3時間程度の限られた時間なので、その後懇親会を設け、引き続き作品の話聞く時間としています。



昨年度は、富山県で2回目の春陽会受賞作家展を開催しました。西野理事長はじめ多くの皆様の温かい励ましと、ご協力のおかげをもちまして、盛大に開催することができ、また、成功裏に終えることができたことを、富山研究会員一同感謝しております。



〈小池 悟先生による講評会〉

〈受賞作家展懇親会理事長挨拶〉

〈春陽会富山研究会小品展〉

春陽会富山研究会展と併設

したり、夏期に単独で開催したりと時期は変動的ですが、他の研究会との合同展という形でも開催しています。近年では、静岡、長野、神奈川、福島、関西、島根等との交流展を行っています。

【連絡先】事務局 島崎 俊哉 富山市堀川小泉町1-19-10 ☎076-424-6717 zebra@pc.ctt.ne.jp



春陽会富山研究会

研究主任 館 寿弥

2017年度 会員 24名



色や形、味や匂い、様々なこだわりがある人

お待ちしております

入会を希望される方は、以下の申込書に必要事項を記入いただき、郵送またはメールで送信下さい。

----- 〈切り取り〉 -----

【宛先】 事務局 島崎 俊哉

住所 富山市堀川小泉町1-19-10

メール zebra@pc.ctt.ne.jp

春陽会富山研究会 入会申込書

※春陽会富山研究会に入会を希望します。

氏名		
住所		
連絡先	電話	
	携帯電話	
	メール	